

社会人の心構え指導

大垣西濃信金 取引先の新人を研修



大垣西濃信用金庫は15日、取引先企業の新人社員を対象にした研修会を大垣市恵比寿町の同金庫本部

で開いた。建設会社や介護、官公庁など17事業所の47人が参加。新型コロナウイルスの

社会人としての心構えやコミュニケーションの取り方について学んだ新人社員研修。大垣市恵比寿町、大垣西濃信用金庫本部

感染防止のため、午前と午後の2部に分けて密にならないように行った。

講師は秘書実務や接遇マナー講師の石崎友子さんが務め、社会人としての心構えやコミュニケーションの取り方、お辞儀の仕方などを伝えた。

コミュニケーションの大切さを教える場面では、参加者に休日の朝にやりたいことは何かと質問。答えがそれぞれ異なることを確認し、「人それぞれの感性がある。互いの存在を認め、

相手が受け取りやすいボールを投げることからコミュニケーションは生まれる」と話した。

5日にも同様に研修会を

開き、48人が受講。20日には入社10年程度までの中堅職員を対象にした研修会を同本部で開く。

(鈴木隆宏)